

第20回

さがの映像祭

SAGANO DEAF MOVIE FESTIVAL in KYOTO

2024.2.11[日]

[対面会場]ヒューリックホール京都
13:00開演(受付12:30~)

ハイブリッド(対面&オンライン)開催!

対面会場 [定員200名/全席自由席] →紙のチケット

〈前売券〉1,200円 〈当日券〉1,500円

オンラインライブ参加+アーカイブ視聴

→デジタルチケット 1,000円



デジタルチケット
購入はこちらから
[さがの映像祭《ネットストア》]

※上記のQRコードから紙のチケットも購入できます。(枚数限定)

※デジタルチケットで対面会場の入場はできません。紙のチケットをお買い求めください。

※デジタルチケットで映画『ジンジャーミルク』の視聴はできません。

※デジタルチケットを購入した方は後日配信するアーカイブ動画(予定)を視聴することができます。

20周年記念大会は
4年ぶりの対面開催!

「オンラインライブ配信あり」

[お問い合わせ先]

さがの映像祭実行委員会 事務局
(社会福祉法人全国手話研修センター)
FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646

[主催]さがの映像祭実行委員会

[協賛]社会福祉法人全国手話研修センター
認定NPO法人障害者放送通信機構

[特別協賛]公益財団法人京遊連社会福祉基金

[後援]一般財団法人全日本ろうあ連盟



特別上映決定!

*対面会場上映のみとなります。映画のオンライン上映・配信はありません。

第20回を迎えたさかの映像祭。2024年はろう映画の曙、深川勝三監督生誕100年でもあります。彼の残した伝説をふりかえる特別企画や、現在活躍中の映画監督をゲストに迎えたシネマトークでろう映画の未来を語り合います。また作品コンクールの受賞式も行います。「日本映画発祥の地」とされるヒューリックホール京都で、この記念すべき年に受賞する作品は果たして…?

*時間など詳細なプログラムは後日、WEBサイト等でお知らせいたします。

深川勝三生誕100年記念企画
～ろう映画の曙～

オーブンコウ
「昭和時代のろう映像
『睦ニュース』とは」

秘蔵映像の公開!



深川 勝三



大館 信広



100th ANNIVERSARY
FUKAGAWA KATSUZO
1924-2024

深川勝三 [映画監督]

1924年(大正13年)東京生まれ。国立東京聾聾学校(現筑波大学附属聴覚特別支援学校)卒業後、洋裁の生計を立てながら、神奈川県各ろう学校卒業生達とろう劇団「東扇屋」を結成し、「ハムレット」の主演及び演出を執った。その後、日本初のろう映画制作集団「睦聾映画演劇研究会」を立ち上げ、8ミリ白黒フィルムによる長編映画「楽しい日曜日」(1961年)、「三浦浩翁半生記」(1962年)、未完成の「たき火」を制作。昭和60年2月11日くも膜下出血のため逝去。享年60歳。



大館信広 [映画監督]

1959年7月16日生まれ。神奈川県横浜市戸塚区在住。ろう映画制作「デフムービーエンターテインメントプロディア」代表。認定NPO法人障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」ディレクター&カメラマン。「おおだて監督のコーナー」番組を制作。「第20回さかの映像祭」審査員及び特別企画ゲスト。深川勝三生誕100年記念プロジェクト実行委員会プロデューサー。



今井ミカ [映画監督]

映画監督。第一言語が日本語のろう者。ノンバイナリー。大学卒業後、香港で2年間手話言語学を学ぶ。2018年映画『虹色の朝が来るまで』を制作、翌年劇場公開。2021年制作の『ジンジャーミルク』で、映文連アワード優秀賞、うえだ城下町映画祭大賞、TAMA NEW WAVE特別賞を受賞、イギリスFragments Festival2023最優秀賞受賞。日本科学未来館の日本語と日本語による案内動画や常設展示「ノベルQ」の手話映像制作を手がける。CM制作や手話・ろう監修においても活躍中。



深田晃司 [映画監督]

1980年生まれ。99年映画美術学校に入学。10年『歓待』が東京国際映画祭日本映画「ある視点」作品賞、プチョン国際ファンタスティック映画祭NETPAC(最優秀アジア映画賞)受賞。13年『ほとりの朔子』でナント三大映画祭グランプリ&若い審査員賞をダブル受賞。18年フランス芸術文化勲章「シュバリエ」受勲。16年『淵に立つ』で第69回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門審査委員賞受賞。直近の公開作に『本気のしるし(劇場版)』(20)、『LOVE LIFE』(22)など。22年黒澤明賞受賞。



山本 芙由美 [ファシリテーター]

Deaf LGBTQ Center代表、ろう者。ろう幼児をもつ親の支援について研究、兵庫教育大学大学院博士前期課程修了。2015年～17年、ギャロゲット大学(米国)で「ろう×LGBTQ+学」専攻。「ろう×LGBTQ+サポートブック」や「多様な性をあわす手話表現」の制作や発信、ろう×セクシュアルマイノリティ全国大会(～第5回)や東南アジアろう×LGBTQ+会議2021の運営などインクルーシブなろうコミュニティづくりをめざして活動している。映画鑑賞はセルフアドボカシーのひとつ。

映画
『LOVE LIFE』

シネマトーク

映画
『ジンジャーミルク』

「デフムービーの今、
そして未来へ(仮)」

ファシリテーター/山本芙由美



映画監督
深田 晃司



映画監督
今井 ミカ



2023年度 第20回さかの映像祭 映像作品コンクール審査結果発表・授賞式

対面会場案内

日本映画発祥の地!

ヒューリック
ホール京都

〒604-8023
京都府京都市中京区
蛸薬師通河原町東備前島町310-2
立誠ガーデンヒューリック京都1F

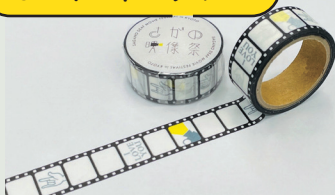
*お越しの際は、電車バス等の公共交通機関をご利用ください



会場
(Google MAP)



オフィシャルグッズ



さかの映像祭
応援マスキングテープ
[数量限定]

会場にて限定販売!

[1個/税込] ¥350



WEBサイトから無料で
応募作品が見られます。
(1月～期間限定)

WEBサイト <https://sdmf-kyoto.com-sagano.com/>



Instagram



Facebook